

# 豊岡市行政改革大綱・ 実施計画を策定しました



市では、財政状況が厳しさを増す中で、持続可能な行政を推進し、さまざまな行政課題に対応するため、今年度から平成21年度までの4カ年を取組み期間とした行政改革大綱と実施計画を策定しました。

今後、この大綱と実施計画に基づき、職員一丸となって、また、市民の皆さんの協力も求めながら、着実に行政改革を進めていきます。

《問合せ》行革推進室

## 大綱の概要

### ■策定の趣旨

本市は、少子高齢化社会の到来、高度情報化社会への対応などさまざまな社会情勢や環境の変化に対応する一方で、非常に厳しい財政状況にあります。

また、地方交付税や国・県からの補助金に頼った財政構造のため、国・県の財政改革が進めば進むほど本市の歳入は減少することは必至です。

これらを踏まえ、本市が将来にわたって継続し、新たな公共的課題を解決するためにも行政改革大綱を策定しました。

### ■取組期間

平成18～21年度（4年間）

### ■検討項目

- ① 財政構造改革の推進
- ② 事務事業の整理合理化
- ③ 補助金改革
- ④ 民間活力の導入
- ⑤ 市民との協働
- ⑥ 効率的・効果的な組織の構築
- ⑦ 総合計画との連携と整合性

### ⑧その他

### ■経過

- 〔平成17年〕
- ▽8月 市行政改革委員会を設置（委員11人）
  - ▽8月 庁内に行政改革本部および行政改革グループ会議を設置
  - ▽11月 「豊岡市行政改革大綱の策定方針」を策定
- 〔平成18年〕
- ▽2月 「市の関与基準」「豊岡市民間活力導入の指針」「補助金等の見直し指針」を策定
  - ▽3月 「歳入確保のための方策」を策定
  - ▽4月 「市民と行政の協働推進指針」を策定
  - ▽5月～6月 「行革タウンミーティング」を市内6会場で開催
  - ▽9月 市行政改革委員会から答申
  - ▽10月 2回目の行革タウンミーティングを市内6会場で開催
  - ▽10月 パブリックコメントを実施
  - ▽12月 大綱・実施計画を策定

## 具体的な改革のポイント

### 1 財政構造改革の推進

将来にわたり持続可能な財政体質を築くため、中長期財政計画の策定、市税収入等の目標徴収率の設定、アクションプランなどによる徴収率の向上に努めます。

また、未利用土地の売却処分などによる財源の確保を図ります。

### 2 事務事業の整理合理化

市の関与基準を踏まえ、業務の全件審査を行い、廃止、改善の見直しを行いました。(8ページ記載の別表1参照)



市民の皆さんに配布していた温泉割引券は来年度から廃止します

今後は、総合計画の政策・施策に体系つけた事務事業の再編を行い、計画(PLAN)―実行(DO)―評価(SEE)のマネジメントサイクルの構築を図ります。

さらに、公共工事についてもコスト削減行動計画を策定します。

### 3 補助金改革

同規模の団体と比較して多額に上り、効果などについて十分に見直しをされていないまま、新たなニーズによる補助制度が創設されている現状を踏まえた行政改革委員会からの改革の答申を受けて、取りまとめられた補助金改革の実施を図ります。(8～10ページ記載の別表2参照)

なお、検討課題として提言された運営費補助から事業費補助への方向性など5つの論点については、今後、検討を進めます。

### 4 民間活力の導入

「民間でできるものは極力民間に委ねる」という原則に基づき、民間が実施することにより質や量、コスト面での



市営の養護老人ホームについては、民営化を検討します

向上が期待でき、より弾力的・効果的な運営が期待できるものについて、民営化や民間委託などの民間活力の導入を進めます。(10ページ記載の別表3参照)

### 5 市民との協働

補助金を交付しながら職員が関わるなど、市が深く関与



市が関わるイベントについて、実施体制や役割の見直しを行いました

しているイベントや団体運営について、協働推進指針を踏まえ、実施体制や役割の見直しを行いました。(11ページ記載の別表4参照)

見直しにより、イベントの自主運営化や市が事務局を行っている団体の事務局運営の自立化を求めています。

### 6 効率的・効果的な組織の構築

合併により1,000人を超える職員を有し、類似団体と比較しても職員数が200人程度多いため、定員の適正化を図り、10年間で200人程度削減します。

また、組織の見直しにおいて、政策調整部を設け、市全体の調整機能の強化を図り、総合支所については、平成19年度は係の統合、平成22年度は課の統合を行うこととしています。

### 7 総合計画との連携と整合性

これからの自治体運営は「管理」から「経営」へと変わる必要があり、総合計画が豊岡市の羅針盤として機能す

るよう目的と手段との関係を整理し、政策―施策―事務事業の体系を構築して総合計画、財政計画、行政改革の三位一体によるマネジメントの推進を図ります。

### 8 その他

● 幼稚園・保育園のあり方の検討

乳幼児の偏在やさらなる乳幼児数の減少、制度改正などを踏まえて総合的に判断する必要があるため、「幼稚園・保育園の一元化」、「幼稚園・保育園の再編と統廃合」、「民営化」の3つの観点から幼稚園・保育園のあり方について検討します。



幼稚園・保育園のあり方については、引き続き検討することとしています